

あいさつはコミュニケーションの始まり！ （幼児期）



こんなことはありませんか・・・？

もうすぐ5歳になる花子ちゃんが、庭でボールをけて遊んでいました。ふと、通りをみると近所のおばさんが近づいてくるのが見えました。ふだんから、とても可愛がってくれるおばさんです。

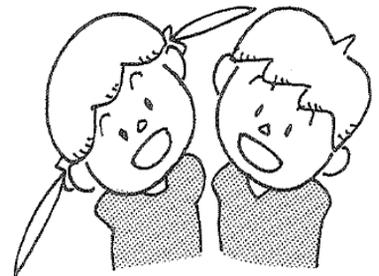
でも、花子ちゃんは気づかないふりをして、ボールで遊ぶのをやめませんでした。

そんな様子を見ていたお母さんは、考え込んでしまいました…。



ワーク1

みなさんもお子さんのあいさつの様子を出し合ひましょう。



ワーク2

お子さんが自然にあいさつができるようにするために心がけたり、実行したりしていることを交流しましょう。



◇他の方の意見をメモしましょう！



いいね！



いいね！

今日気がついたこと、これからやってみようと思うことはどんなことですか？



今日からぜひやってみてくださいね。お疲れ様でした。



人とかかわりはあいさつに始まりあいさつに終わるといわれるくらい大事じゃぞ。でも、子どもに無理強いするような教え方でなく、自然に身につけさせるようにしたいもんだな。それには、神経質にならず、家族の中であいさつが交わされたり、親が近所の人に積極的にあいさつしている姿を見せたりすれば、子どもも自然にできるようになるもんじゃぞ。

「あいさつ」が自然と身につくために

親が手本に なしましょう

「おはよう」「いただきます」
「ありがとう」「ごめんね」
自らが、お手本になりましょう。家族の大人同士で、また地域の人たちへあいさつをしているところも見せましょう。

毎日、 繰り返しましょう

ケンカをしていても、あいさつの声をかけましょう。どんな時でも、きちんとあいさつをするのだということを示しましょう。

叱ったり、せかしたりしないようにしましょう

恥ずかしがりやの性格や、その日の気分でなかなか言えない時もあります。そんな時は、一緒に言ってあげましょう。



遊びにも 取り入れて みましょう

お店屋さんごっこで、「こんにちは」「ありがとうございました」など、楽しみながら教えましょう。

できたら ほめましょう

「じょうずにできたね」「ありがとうって言えたので仲良くなれたね」など、できたことをたくさんほめましょう。

「あいさつ」 作絵：いもとようこ 金の星社

おはよう・いってきます・こんにちは・さようなら・ごめんなさい。あいさつは言葉の握手。人と人とのつながりの最初の一步です。元気なあいさつはみんなを元気にします。赤ちゃんの時からあいさつが身につく絵本。





★表に日にちを書き入れましょう。

★がんばったら、下の絵をはりましょう。（あらかじめ切っておきましょう。）

日	日	日	日	日
日	日	日	日	日

